



会報



地域の力となり、その輪を広げよう

2010.09.15. 第938回例会 No.21-10 2010.09.29発行

第936回例会(9/1)訂正出席率 86.49%

司会 SAA・親睦委員会 三田みよ子

点鐘 会長 宮村 宏

ロータリーソング 「それでこそロータリー」
 ソングリーダー 吉沢 洋景

お客様紹介 会長 宮村 宏

多摩市役所環境部都市計画課 内田 直人様
 米山奨学生 李 炯宙君

会務報告 会長 宮村 宏

本日行った臨時理事会の報告です。第1号議案として「20周年事業会計 予算一般拠出」について理事会として承認しました。

幹事報告 幹事 菊池 敏



会長より報告された20周年事業会計予算の拠出についてです。運用準備金の50%以下の出金の提案があり、理事会として承認しましたが総会の承認が必要な事項となります。9月29日の最終例会にて総会を行いそこでかけますので宜しくお願いします。来週22日の例会はありません。24

日の移動例会となります。調布むらさきロータリークラブ 20周年記念式典の出欠表を回覧しますので出欠を記入してください。

【 委員会報告 】

出席報告 出席奨励委員会 足立潤三郎

会員総数	38名
出席義務者数	32名
出席者数	出席義務者 23名
	出席義務免除者 3名
	事前MU 2名
	計 28名
出席率	28/36 = 77.78%

ニコニコBOX SAA・親睦委員会 荒瀧 義機

宮村 宏 内田様 卓話楽しみにしています。イ ヒョンジュさんいらっしやい。
 大松 誠二 多摩市都市計画課 内田様卓話宜しく
 お願いします。
 伊澤ケイ子 やっと涼しくなりましたネ。
 岩本 光男 内田さん講話を楽しみにしています。
 菊池 敏 内田様卓話楽しみにしております。
 村上 久 内田直人様 卓話楽しみです。
 中谷 紘子 内田様卓話楽しみにしております。
 齋藤 誠壽 内田様良い街づくりと多摩市の活性化
 について色々お話を伺いたいです。
 関岡 俊二 多摩市役所内田様卓話宜しくお願
 います。
 津守 弘範 多摩市環境部の内田さん卓話宜しく。
 海野 榮一 しのぎやすくなりましたネ。

本日の合計 ¥ 14,000 (累計 ¥ 231,103)

その他の委員会

創立20周年実行委員会

テニス担当委員長 足立潤三郎

今月24日開催の障害者テニススクールには多くの会員が参加いただけるとことで感謝します。来週22日は24日の移動例会のため通常の例会はありませんが、最終チェックを行いますので各班長の方は出席してください。また先週のクラブ協議会で話せなかったことも持ち込むようお願いします。なお、24日当日のお願いとして8時集合 自動車で来場の場合は一本杉の駐車場を使用せず指定された駐車場に駐車してください。

この2点をお守りください。また、当日の当クラブの参加者は現在のところ21名、お揃いのTシャツを作りましたことを報告しておきます。

卓話 **プログラム委員長 関岡 俊二**

本日は多摩市環境部都市計画課計画担当の3名の方にお越し頂いています。本年度は当クラブでも地域を大切にするというテーマがあり、多摩市の過去、そしてこれからを知る機会として今回の運びとなりました。多摩市では4月から多摩市民大学を立ち上げ、その中に出前講座ができたとのこと。本日はその中の都市計画に関する出前講座を依頼しました。

*「地域のまちづくり」

多摩市都市計画課都市計画担当主査 内田直人 様

現在の多摩市は、明治22年多摩村からスタートしました。町村制の施行により江戸時代からの旧8ヶ村を合併し生まれたのが多摩村です。



その後、大正14年には府中 東八王子 (現京王八王子) 間に玉南鉄道が開設し現在の聖蹟桜ヶ丘駅である関戸駅ができました。更に昭和8年には電話が通じ、昭和12年には関戸橋が完成しました。そして昭和30年代後半は桜ヶ丘地区の宅地造成をはじめとする宅地化が活発になり人口増加が始まりました。

昭和40年には新住宅市街地開発法による多摩ニュータウン建設区域計画が決定されました。



この多摩ニュー

タウンは市の約6割の規模で、人口増加が加速したものです。昭和46年、多摩ニュータウンの諏訪・永山地区の初期入居が始まりました。また、同年11月1日には市制が施行され東京都で24番目となる市・多摩市が誕生しました。

さて、多摩市について簡単に概要を説明しておきます。人口は約14万8千人、世帯数は約6万6千世帯、面積は21.08K㎡です。また生産人口を昭和46年と平成21年で比較すると、年少人口(0~14歳):25.3% 12.3%、生産人口(15~60歳):69.8% 67.5%、老年人口(65歳以上):4.9% 20.2%と少子高齢化が進んでいます。

このシェアはほぼ東京都水準です。

また、多摩市では用途地図を作成しています。例えば中高層の建物を建築できる地域を色分けするなどをしています。

次に多摩市の強みを紹介します。まず道路率14.5%は都内第1位です。また緑が豊かで市立公園面積は199ha (平成22年調べ)、市民一人当たり13.47㎡になり、これも都内で上位を争う位置にあります。また、平成21実施の世論調査でも94.6%の方が緑がきれい、89.3%の方が空気がきれいとお答えしています。また、多摩市は人材が豊富と私たちは考えています。1例ですが、コミュニケーションセンターのこぶし館の運営は指定管理制度というものをを用いて地域住民の方が自主管理をしています。

一方、現在のニュータウンの課題もいくつかあります。少子高齢化や急激な行政需要の変化、住宅の老朽化、昔ながらの商店街・いわゆる近隣センターの衰退、坂が多く歩行導線としてのバリアフリー化の必要性などです。更に少子化に伴い学校の統廃合が進んでいます。昭和61年のピーク時にあった小中学校37校は平成21年には29校に、更に現在統廃合を検討している学校は25校という具合です。こうした学校跡地をコミュニケーションセンターや特色ある教育施設の誘致、多様な主体による福祉の推進の場などに活用していきたいと考えています。また、シャッターの閉まっていた近隣センターにデータービスセンターやNPOに入ってもらっておりシャッターが開いている状況も見られます。

ニュータウンの再生のひとつとして、諏訪2丁目の団地の建て替えにあわせ、道路のバリアフリー化や公園のリニューアルも多摩市として取り組む予定です。また永山の団地も建て替え、現在の600戸から建て替え後は1200戸になる予定です。

最後に近年の取り組みを4つ程お話しいたします。1つ目は平成19年に「多摩市街づくり条例」が施行されたことです。これは市民が主体となり街づくり活動に取り組む仕組みや良好な開発が主旨となっています。市民事業者 市が協働してより良い街づくりを目指していくものです。2つ目は地区単位で将来にむけて街づくりの計画を定め区域内において建築物の建て方のルールを決める「地区計画制度」です。多摩市を28地区に分けそれぞれの計画をたてています。3つ目として「高度地区の変更」に取り組んでいます。建築物の高さの最高限度を今年11月に指定する予定です。4つ目には「多摩市都市計画マスタープラン」があります。これは平成10年に基本方針を策定したもので、20年後の長期的な街づくりの方向性を示したものでしたが、現在の社会情勢の変化に対応した改定を予定しています。

簡単ではありましたが何かの参考になればと思います。今後とも皆様のご協力をお願いいたします。

お礼と点鐘

会長 宮村 宏
(今週の担当： 片山 哲也)